

第 6 章

一酸化炭素

1 一酸化炭素測定局の現況

一酸化炭素による大気汚染は、主に自動車排出ガスによるものと考えられ、測定局も交通量の多い道路端、交差点付近等に設置された自動車排出ガス測定局が多く、一般環境大気測定局の設置数は他の汚染物質に比べ少ない状況である。

令和5年度末現在、一般局で全国52市町村に54測定局、自排局で全国163市町村に210測定局が設置されている。このうち、令和5年度の有効測定局は、一般局が49市町村の51測定局、自排局が162市町村の209測定局であった。測定局数の推移は、表6-1-1のとおりである。

また、令和5年度末現在の都道府県別の測定局設置市町村数及び測定局数は、表6-1-2のとおりである。

表6-1-1 一酸化炭素測定局設置市町村数及び測定局数

局区分	項目	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	
一般局	総数	市町村数	57	80	113	143	158	174	177	182	185	172	175	172	168	169	167	164	164	161
		測定局数	70	100	141	168	189	206	215	222	224	213	214	204	197	199	198	194	192	190
	有効数	市町村数	31	54	80	111	130	144	152	167	170	165	169	159	163	163	162	161	160	161
		測定局数	38	70	99	128	151	163	185	200	205	200	205	189	193	191	191	187	187	189
自排局	総数	市町村数	67	90	110	120	132	147	151	152	173	177	180	180	183	182	179	181	183	187
		測定局数	118	171	279	308	326	347	361	352	360	301	311	305	310	307	304	308	312	315
	有効数	市町村数	37	69	76	93	109	122	133	136	157	159	169	170	170	176	172	176	177	181
		測定局数	95	150	195	257	283	287	297	310	322	269	293	289	293	292	292	297	300	305

局区分	項目	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	
一般局	総数	市町村数	160	161	163	156	156	157	156	128	123	118	116	113	114	86	82	80	76	73
		測定局数	188	191	195	189	185	186	185	153	146	138	134	132	130	99	96	93	88	80
	有効数	市町村数	158	160	163	154	155	156	155	125	122	118	116	112	111	86	82	79	74	71
		測定局数	186	190	195	187	183	185	184	150	145	138	134	131	126	99	96	91	86	78
自排局	総数	市町村数	189	189	197	203	207	211	218	210	209	206	203	203	209	208	209	208	205	204
		測定局数	319	320	333	341	345	346	351	335	331	323	316	317	316	309	309	308	298	294
	有効数	市町村数	184	186	188	197	204	209	213	206	206	203	201	202	204	205	209	206	202	202
		測定局数	311	314	317	328	339	343	342	329	327	319	314	312	309	302	306	304	294	291

局区分	項目	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
一般局	総数	市町村数	69	66	64	65	66	59	58	56	58	57	58	54	54	55	54	52
		測定局数	76	72	70	71	71	62	61	58	59	59	60	56	56	57	56	54
	有効数	市町村数	67	65	64	65	66	57	56	56	56	57	54	54	53	53	51	49
		測定局数	73	71	70	70	68	60	59	57	57	59	56	56	55	55	53	51
自排局	総数	市町村数	199	191	184	184	205	179	178	178	176	174	176	172	170	169	168	163
		測定局数	285	273	267	261	253	245	241	237	232	230	233	223	223	219	217	210
	有効数	市町村数	195	189	177	182	197	177	178	174	174	171	171	169	169	164	166	162
		測定局数	276	270	258	258	241	243	241	232	230	227	226	220	220	213	213	209

※環境基準適用除外局は除く。

表6-1-2 都道府県別の測定局設置市町村数及び測定局数

都道府県	一般局				自排局			
	総数		有効数		総数		有効数	
	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数
北海道	1	1	1	1	5	5	5	5
青森県	0	0	0	0	3	3	3	3
岩手県	0	0	0	0	1	1	1	1
宮城県	1	1	1	1	2	3	2	3
秋田県	0	0	0	0	1	1	1	1
山形県	0	0	0	0	1	1	1	1
福島県	0	0	0	0	3	3	3	3
茨城県	2	3	2	3	3	3	3	3
栃木県	0	0	0	0	4	4	4	4
群馬県	0	0	0	0	8	8	8	8
埼玉県	5	5	5	5	5	5	5	5
千葉県	2	3	2	3	12	18	12	18
東京都	11	11	10	10	15	20	15	20
神奈川県	3	3	3	3	9	14	9	14
新潟県	0	0	0	0	2	3	2	3
富山県	0	0	0	0	2	2	2	2
石川県	2	2	1	1	2	4	2	4
福井県	0	0	0	0	3	3	3	3
山梨県	0	0	0	0	1	2	1	2
長野県	0	0	0	0	2	2	2	2
岐阜県	0	0	0	0	2	2	2	2
静岡県	3	3	3	3	6	9	6	9
愛知県	2	2	2	2	10	10	10	10
三重県	0	0	0	0	3	3	3	3
滋賀県	0	0	0	0	2	4	2	4
京都府	0	0	0	0	2	4	2	4
大阪府	4	4	4	4	8	11	8	11
兵庫県	3	3	3	3	13	21	13	21
奈良県	2	2	1	1	1	1	1	1
和歌山県	0	0	0	0	1	1	1	1
鳥取県	1	1	1	1	2	2	2	2
島根県	1	1	1	1	1	1	1	1
岡山県	1	1	1	1	4	7	4	7
広島県	0	0	0	0	4	5	4	5
山口県	2	2	2	2	1	1	1	1
徳島県	0	0	0	0	1	1	1	1
香川県	1	1	1	1	1	1	1	1
愛媛県	2	2	2	2	1	2	1	2
高知県	0	0	0	0	1	1	1	1
福岡県	2	2	2	2	3	4	3	4
佐賀県	0	0	0	0	2	2	2	2
長崎県	0	0	0	0	2	3	2	3
熊本県	0	0	0	0	1	1	1	1
大分県	1	1	1	1	1	2	1	2
宮崎県	0	0	0	0	3	3	3	3
鹿児島県	0	0	0	0	2	2	2	2
沖縄県	0	0	0	0	1	1	0	0
全国	52	54	49	51	163	210	162	209

※環境基準適用除外局は除く。

2 一酸化炭素濃度の測定結果

(1) 環境基準の達成状況

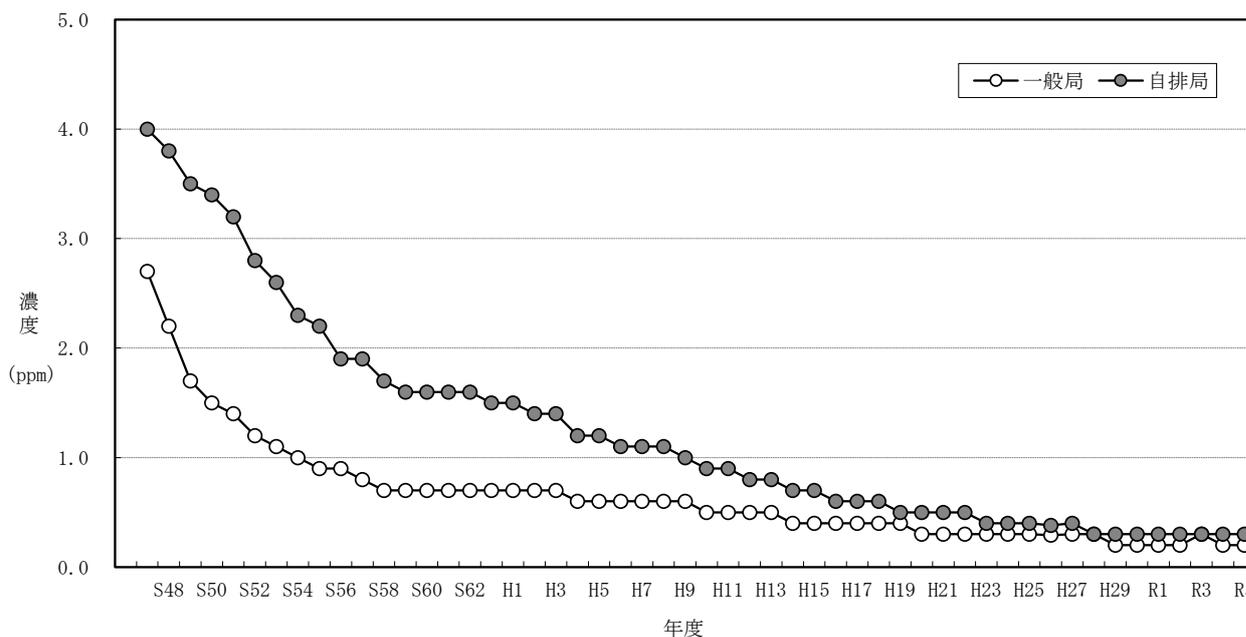
令和5年度の一酸化炭素の有効測定局数は、260局（一般局：51局、自排局：209）であった。
 長期的評価では、昭和58年度以降全ての測定局において環境基準を達成しており、良好な状況が続いている。

(2) 年平均値

ア 年平均値の経年変化

令和5年度の一酸化炭素濃度の年平均値は、昭和40、50年代に比べ著しく減少し、近年は一般局、自排局ともに横ばい傾向にある（図6-2-1）。

図6-2-1 年平均値の経年変化



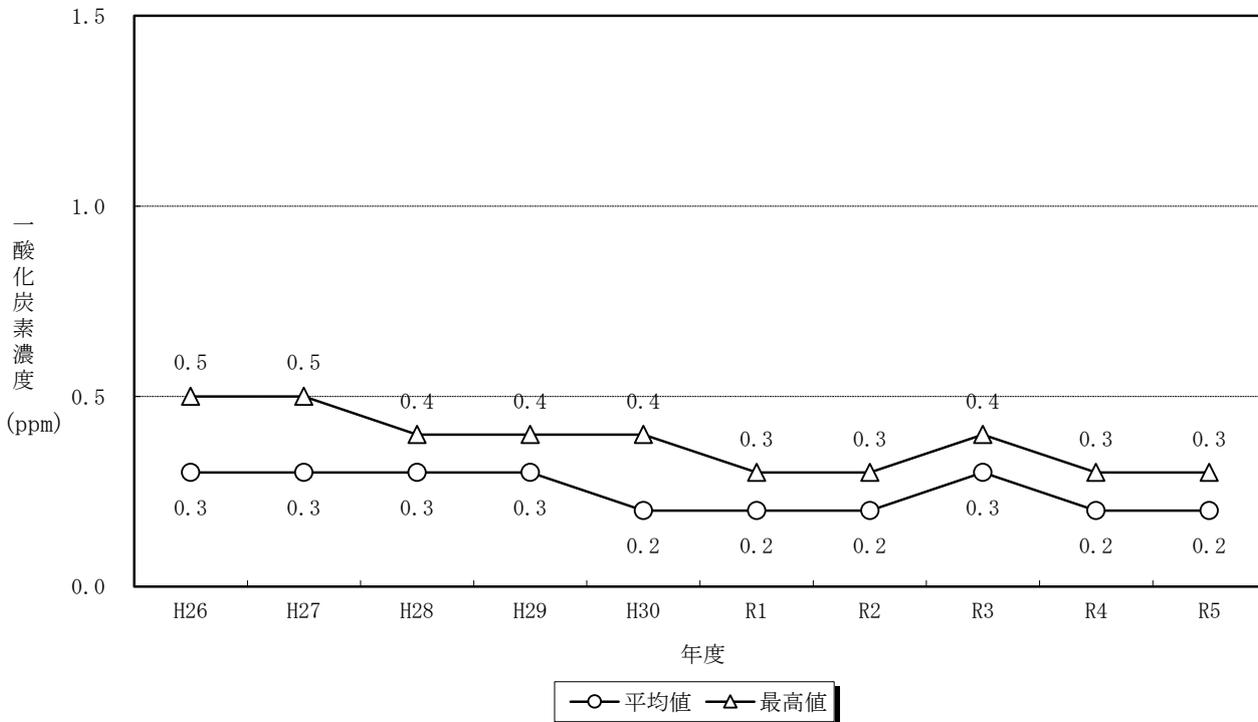
年度	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1
一般局	年平均 2.7 局数 38	年平均 2.2 局数 70	年平均 1.7 局数 99	年平均 1.5 局数 128	年平均 1.4 局数 151	年平均 1.2 局数 163	年平均 1.1 局数 185	年平均 1.0 局数 200	年平均 0.9 局数 205	年平均 0.9 局数 200	年平均 0.8 局数 205	年平均 0.7 局数 189	年平均 0.7 局数 193	年平均 0.7 局数 191	年平均 0.7 局数 191	年平均 0.7 局数 187	年平均 0.7 局数 187	年平均 0.7 局数 189
自排局	年平均 4.0 局数 95	年平均 3.8 局数 149	年平均 3.5 局数 195	年平均 3.4 局数 257	年平均 3.2 局数 283	年平均 2.8 局数 287	年平均 2.6 局数 296	年平均 2.3 局数 322	年平均 2.2 局数 334	年平均 1.9 局数 282	年平均 1.9 局数 304	年平均 1.7 局数 297	年平均 1.6 局数 300	年平均 1.6 局数 299	年平均 1.6 局数 299	年平均 1.6 局数 304	年平均 1.6 局数 301	年平均 1.5 局数 305
年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
一般局	年平均 0.7 局数 186	年平均 0.7 局数 190	年平均 0.6 局数 195	年平均 0.6 局数 187	年平均 0.6 局数 183	年平均 0.6 局数 185	年平均 0.6 局数 184	年平均 0.6 局数 150	年平均 0.5 局数 145	年平均 0.5 局数 138	年平均 0.5 局数 134	年平均 0.5 局数 131	年平均 0.4 局数 126	年平均 0.4 局数 99	年平均 0.4 局数 96	年平均 0.4 局数 91	年平均 0.4 局数 86	年平均 0.4 局数 78
自排局	年平均 1.4 局数 311	年平均 1.4 局数 314	年平均 1.2 局数 317	年平均 1.2 局数 328	年平均 1.1 局数 339	年平均 1.1 局数 343	年平均 1.1 局数 342	年平均 1.0 局数 329	年平均 0.9 局数 327	年平均 0.9 局数 319	年平均 0.8 局数 314	年平均 0.8 局数 312	年平均 0.7 局数 309	年平均 0.7 局数 302	年平均 0.6 局数 306	年平均 0.6 局数 304	年平均 0.6 局数 294	年平均 0.5 局数 291
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
一般局	年平均 0.3 局数 73	年平均 0.3 局数 71	年平均 0.3 局数 70	年平均 0.3 局数 70	年平均 0.3 局数 68	年平均 0.3 局数 60	年平均 0.3 局数 59	年平均 0.3 局数 57	年平均 0.3 局数 57	年平均 0.2 局数 59	年平均 0.2 局数 56	年平均 0.2 局数 56	年平均 0.2 局数 55	年平均 0.3 局数 55	年平均 0.2 局数 53	年平均 0.2 局数 51		
自排局	年平均 0.5 局数 276	年平均 0.5 局数 270	年平均 0.5 局数 258	年平均 0.4 局数 258	年平均 0.4 局数 241	年平均 0.4 局数 243	年平均 0.4 局数 241	年平均 0.4 局数 232	年平均 0.3 局数 230	年平均 0.3 局数 227	年平均 0.3 局数 226	年平均 0.3 局数 220	年平均 0.3 局数 220	年平均 0.3 局数 213	年平均 0.3 局数 213	年平均 0.3 局数 209		

イ 継続測定局の年平均値

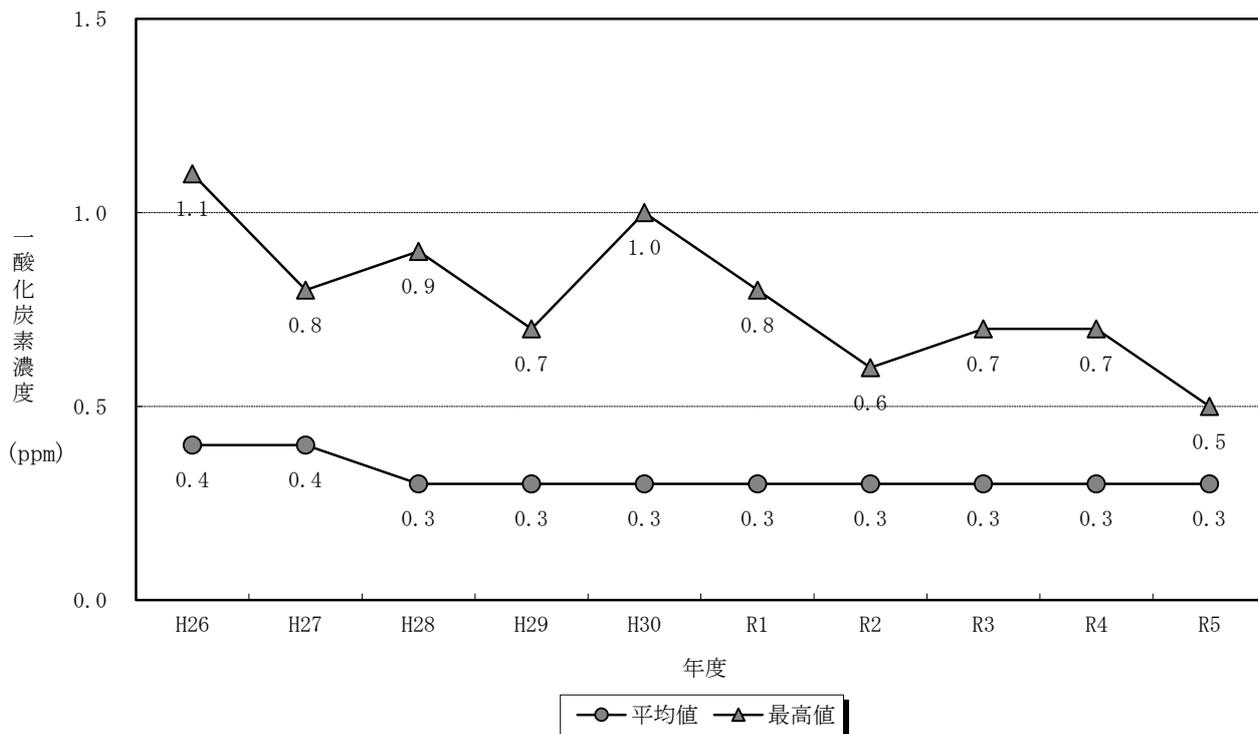
過去 10 年間の継続測定における一酸化炭素濃度の年平均値の経年変化は、図 6-2-2 のとおりであり、近年は一般局、自排局ともに横ばい傾向である。

図 6-2-2 過去 10 年間継続測定局における年平均値及び年平均最高値の経年変化

一般局 (41局)



自排局 (181局)



一酸化炭素